

雨水流抑制施設点検要領

平成31（2019）年3月

川崎市建設緑政局道路河川整備部河川課

雨水流出抑制施設点検要領

各施設の点検については、下記の留意の上、「雨水流出抑制施設 点検表（様式2）」等を用いて、現地で施設を確認しながら行ってください。異常の有無がある場合はその内容を記載してください。

- ① 点検年月日、点検者氏名、施設名称を記入する。
- ② 周囲堤の異常（ひび割れ、破損など）の有無を確認する。周囲堤が盛土形式となっている場合は、周囲堤の高さが計画どおりか確認する。



- ③ 放流施設の異常（堆積土砂、構造物の破損、放流孔（オリフィス）の閉塞など）の有無を確認する。排水ポンプの動作確認を行う。



- ④ 表面の異常（堆積土砂による隆起、平坦性など）を目視により確認する。
異常が見受けられる場合は測量を行い、計画貯留量が確保されているか、また、どれだけ貯留量が不足しているか確認する。
- ⑤ 集水マス外見の異常（破損、蓋のずれ、周囲の陥没など）及び内部の異常（堆積土砂など）の有無を確認する。
集水マス内部に堆積土砂がある場合は、堆積高さ（cm）、堆積量（m³）を計測する。
また、浸透機能を有する集水マスについては、目詰まりがないか確認する。
集水マス内部の目詰まり防止装置の異常の有無を確認する。
- ⑥ 側溝外見の異常（破損、蓋ずれ、周囲の陥没など）の有無を確認する。
側溝内部の異常（堆積土砂など）の有無を確認。堆積土砂がある場合は堆積量を計測する。
浸透機能を有する側溝については、目詰まりがないか確認する。



- ⑦ 浸透トレンチ設置箇所上面の陥没、碎石の露出の有無を確認する。
集水マスからトレンチ内部の土砂・碎石の進入を確認。土砂・碎石の進入が見られる場合は管底からの堆積高さ等を計測する。
- ⑧ 点検結果から必要となる措置及び講じた措置などを記載する。
記載例1：集水マス及び側溝に土砂の堆積があるため、〇〇月に清掃を行った。
記載例2：側溝に土砂の堆積が認められるが、微量であるため状況観察とする。
記載例3：「管理者」が無くなっており、復旧する必要がある。〇〇月に対応予定。
- ⑨ 点検時に施設全景、構造物（オリフィス、周囲堤、浸透側溝など）の現状写真を撮り、貼付する。特に異常があった場合には、その内容がわかる写真としてください。